

和文誌「顕微鏡」執筆要項

(2008.7.31 改訂)

1. **和文誌「顕微鏡」**は、顕微鏡学の発展・普及と技術の向上ならびに後進の育成に資することを目的としている。この趣旨にのっとり、**初心者や他分野の読者にも理解できるように、わかりやすく執筆する。**

2. 記事の内容と体裁

「顕微鏡」の記事の内容は、当面、原則として、下記の10種類とし、すべて編集委員会からの依頼論文とするが、閲読も行なう。ただし、「読者のコーナー」に関しては会員からの直接投稿を受け付ける。

- 1) **巻頭言**：刷り上がり1頁。
- 2) **追悼文**：刷り上がり1頁。
- 3) **解説**：広い視野から専門分野以外の読者にも分かりやすく解説する。刷り上がり6頁以内。
- 4) **特集**：1つのテーマにおける最近の動向を数人の著者で総合的に解説する。刷り上がり20頁以内。
- 5) **学会賞(瀬藤賞)論文**：刷り上がり6頁以内。
- 6) **講座**：著者の専門分野の中のある主題について、専門分野以外の読者、特に初心者にとっても、易しく、よく理解できて、年月が経っても価値が失われないような体系的知識を提供する内容とする。刷り上がり4頁以内。
- 7) **最近の研究と技術**：最近の研究上の特に新しい話題や、新しい実験法や技術について紹介する。刷り上がり3頁以内。
- 8) **国際会議報告**：著者が参加した国際会議や国際シンポジウムの内容、特色、トピックス、研究動向などについて報告する。刷り上がり1頁以内。
- 9) **読者のコーナー**：会員が直接参加し、情報や意見を交換する。刷り上がり1頁以内。
- 10) **編集後記**：刷り上がり0.5頁程度。

3. 原稿スタイルと刷り上がり頁数

- 1) 原稿は和文で横書きとし、原則として当用漢字、新仮名づかいを用いる。
- 2) 表題ページ、本文、引用文献、表・図の説明の順に並べて**通し番号**を入れ、その後に表、図を添付する。
- 3) 原稿は、**A4サイズ**の用紙に**ワ・プロ打ち**とし、書式は問わない。但し、刷り上がり1頁は、文字のみの場合

で**2646**字に相当するので、頁数の超過に注意する。

- 4) 依頼頁数を超過した原稿は、書き直しをお願いするか、あるいは**超過ページ料金を著者負担**とする(後述の10.4)を参照のこと)。

4. 表題ページ

- 1) 表題ページ(1ページ目)には、表題、著者名、所属機関とその所在地、要旨・キーワードを書く。
- 2) 表題と著者名は和文と英文を併記、所属機関とその所在地は和文のみとする。著者が希望する場合は、電話、Fax、E-mail も入れる。
- 3) 要旨は和文と英文を併記する。「巻頭言」、「追悼文」、「国際会議報告」、「読者のコーナー」、「編集後記」では要旨は不要。和文要旨は、「解説」、「特集」、「学会賞(瀬藤賞)論文」、「講座」については400字内、「最近の研究と技術」については200字内とする。英文要旨は、「解説」、「特集」、「学会賞(瀬藤賞)論文」、「講座」、「最近の研究と技術」について200 words 以内とする。なお、英文要旨は和文誌には掲載せず、学会ホームページに和文要旨とともに掲載される。
- 4) キーワードは和文と英文を併記し、それぞれ5語以内とする。「巻頭言」、「追悼文」、「国際会議報告」、「読者のコーナー」、「編集後記」ではキーワードは不要。
- 5) 要旨を含めた表題ページの刷り上がり文字数は、解説、学会賞(瀬藤賞)論文、講座については1242字に換算し、最近の研究と技術は756字に換算する。

5. 活字指定

- 1) 量を表す記号(変数)および学名はイタリック、単位および元素記号は立体を使用する。
- 2) 外国人名は原語で書く。
- 3) 字体は以下の例に従い、下線(赤)で示す。
 - a) ゴチック：F (F)
 - b) イタリック：lamina densa (*lamina densa*)
 - c) イタリック・ゴチック：A (A)
 - d) 0 (ゼロ) と 0 (オ・)、1 (エル) と 1 (イチ)、a と 、 C と c など混同しやすい場合は、次のように指定(赤)する。

ゼロ エル ギ 大 小

0、1、 、C、c

6. 数式

- 1) 数式には (1)、(2)、(3) の一連番号を付ける。
- 2) 数式が文中に出てくる場合は、 $a / (b + c)$ 、exp 等の記法を用いる。
- 3) 原則として、変数はイタリック、単位、演算記号は立体とするが、複雑または特殊な数式の場合には、字体、上つき、下つきなど原稿中にできる限り明確に赤字で指示する。
- 4) 数式は一般にイタリックで組むから、特に立体とすべき文字記号は、exp、grad のように文字の上に記号(赤)をつけて指定する。

7. 図(写真を含む)、表

- 1) 図(写真)・表は、原則として、**刷り上がりの大きさを横 8.5 cm(片段)、または 17.5 cm(両段)の2種類**とする。
- 2) 提出する図の大きさは、刷り上がり寸法の1~1.5倍、写真はできれば同一寸法が望ましい。
- 3) 多くの枚数の写真を使用する場合は、それぞれを別の図番号とするよりは、むしろ可能な限りまとめて組写真とする方が望ましい。
- 4) 提出する表、図(写真)は1枚ずつ別葉とし、原稿の最後にまとめて添付する。A4版(原稿と同じ大きさ)の白紙または淡青色グラフ用紙に記載または貼付し、**希望する寸法を横 cm のように指定**する。余白に図・表番号(例:図1、表1) 著者氏名を鉛筆書きする。
- 5) 顕微鏡写真の場合は、スケールを明示し、 μ 記号を用いるときには μm とする。
- 6) 数字、記号、矢印等は、縮小率(刷り上がりの大きさ)を考慮し、スミまたは印刷文字を用いて、ていねいに記入する。
- 7) 表は、縦罫を省いてもわかりやすいように作る。
- 8) 図・表によって占める原稿の長さは、以下のように換算する。
 - a) 図・表の横幅 8.5 cm の場合
(相当文字数) = (図の縦の長さ(cm) \times 54)
 - b) 図・表の横幅 17.5 cm の場合
(相当文字数) = (図の縦の長さ(cm) \times 108)
 - c) 図・表の挿入希望箇所を原稿中に図・表番号を記入して明示する。

9) 写真および図・表の説明はすべて和文とし、原稿末尾に一括記載する。

10) **カラー印刷の場合は、著者負担とする。**費用概算は以下の通り。

- a) カラー写真(印刷)使用の場合: 1頁目は5千円とし、2頁目は2万円とし、3頁目以降は2万5千円/頁とする。
- b) オリジナルが白黒の図面を印刷所で加工してカラー化する場合: 5千円~1万円/頁

8. 文献の引用

- 1) 文献は本文に引用番号 1), 2,3), 4~6) をつけ、原稿の最後に、引用番号順に一括記載する。
- 2) 欧文はダブルスペースでタイプ打ちとする。

<例 I. 欧文の文献>

- 1) Yamada, E., Ishikawa, H. and Nonomura, S. : J. Electron Microsc., 24, 120-131 (1975)
- 2) Creutzfeldt, W. and Frerichs, H.: The Structure and Metabolism of the Pancreatic Islets, Pergamon Press, Oxford, 1970, p. 181-190
- 3) Yamada, E. : in Smelser, G. K. (Ed.), The Structure of the Eye, Academic Press, New York, 1961, p. 73-80
- 4) Parapat, S. B.: Proc. 7th Int. Congr. Electron Microsc., Grenoble, 1970, Vol. 3, p. 475

<例 II. 日本語の文献>

- 1) 美浜和弘, 田中信夫: 日本物理学会誌, 34, 473-476 (1979)
- 2) 小川和朗:細胞・しくみとはたらき・, 朝倉書店, 東京, 1982, p.100-105
- 3) 本庄五郎, 八木克道:小川四郎(編), 薄膜・微粒子の構造と物性, 丸善, 東京, 1974, p.1-5
- 4) 松本えみこ, 広沢一成:電子顕微鏡学会 第39回 学術講演会予稿集, 1983, p.90

9. 提出原稿部数と投稿方法

- 1) **初稿の提出は、編集業務の簡素化と迅速化のため、電子メールによる提出が望ましい。**(1メールあたりの最大容量は10MB以内。初稿の図(写真)の解像度は、200ppi程度で良いが、必ずオリジナルは高解像度(300ppi以上)で保存し、最終稿提出に当たっては2)に定めるデータ形式を整えて提出する。郵送を希

望する場合は、紙媒体に印刷したオリジナル1部とそのコピー1部（写真はオリジナルに近いもの）を提出する。

（電子メールで提出された場合は編集業務をメールで行い、郵送により提出された場合は、従来通り郵送による編集を行います。）

2) **最終稿の提出**は、紙媒体に印刷したオリジナルとコピーを各1部ずつ、計2部を下記の**編集係**に提出する。コピーの場合も写真はオリジナルまたはそれに近いものを使用のこと。同時に電子媒体（CD-R等に記録し、使用ソフトを記入）を添付する。使用ソフトのファイル形式による文書のほか、テキスト形式の文書も用意する。

最終稿提出に当たっての図版の解像度の目安は以下の通りである。

(1) 写真は、グレースケールの場合で 256 階調、300ppi 以上、文字や記号が入る場合は 1200ppi 程度が望ましい。

(2) 線画は、モノクロ 2 値の場合で、1200ppi 以上が望ましい。

執筆依頼時に編集係から発行される「図版原稿の入稿について」を参照しデータ形式を整えて入稿すること。

10. その他

- 1) 原稿執筆に当たっては「顕微鏡」最新号を例として参照する。
- 2) 著者校正は初校のみとし、誤植、組版の誤りを直すに止め、内容の書き換え、加筆は絶対にしないこと。
- 3) 別刷は 25 部を著者に無料贈呈する。それ以上の部数（有料）は、校正時に注文する。
- 4) 超過頁料金は、実費（¥16,400 / 頁）を著者負担とする。
- 5) 和文誌「顕微鏡」に掲載された論文の著作権（＝著作財産権、Copyright）は、日本顕微鏡学会に帰属する。

最終原稿の送付先

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

中西印刷株式会社内 「顕微鏡」編集係

TEL: 075-441-3155 FAX: 075-417-2050

E-mail: microscopy@nacos.com